

特集

オープンノートでジグソー学習 鹿児島市立伊敷中

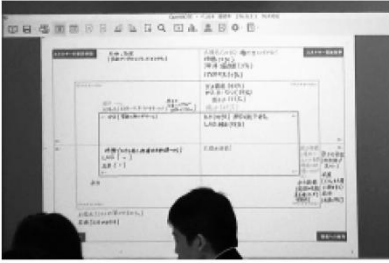
エネルギーがテーマに技術科で学び合い

鹿児島市教育委員会は現在、タブレットPC約2600台(小中学校特別教室及び中学校PC室用)を小中学校全17校で活用中だ。

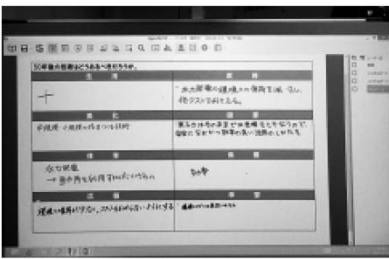
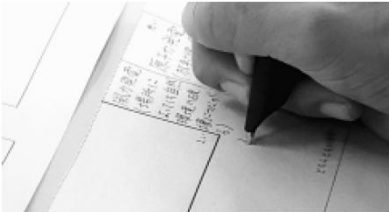
この環境を活かし、鹿児島市立伊敷中学校(北園博之校長)では、DNPデジタルペン授業支援システム「OpenNOTE(オープンノート)」を活用している。

「エネルギー資源」として取り組んでおり、柿教諭は、「技術科」で本課題に取り組んだ。

「エネルギー資源」として取り組んでおり、柿教諭は、「技術科」で本課題に取り組んだ。



4分割したワークシート(下)に記入すると、電子黒板にはワークシート全体(上)が提示



クロストーク活動の班ごとのまとめを一枚で提示できる

「エネルギー資源」として取り組んでおり、柿教諭は、「技術科」で本課題に取り組んだ。



2つの班の考察をピックアップ 気づきを促す



DNPデジタルペンで記入した内容はすぐに提示できる

矢印をどのよう順番で再生して児童の考察の違いを明らかにし、深い学びにつなげていきたい」と語る。このタブレットPCとDNPデジタルペンを活用した授業は1月29日に同校で予定されているICT活用研究発表会でも行う予定だ。

に渡す方法を試みた。タレットとDNPデジタルペンの活用で、各活動における手書き情報の共有をスムーズに進めることができ、話し合いの時

タブレットとオープンノートを連携 菊池市立菊之池小

実験結果を共有・比較

菊池市立菊之池小学校(森智保美校長・熊本県)は、平成26年度から2年間で市のICT活用モデル校の指定を受けている。

「この日の学習課題は「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。

「もののあたり方」について。金属棒の熱の伝わり方を各班で実験した。予想は各自のワークシートで行い、その内容を共有。実験はタブレットPCのカメラ機能で録画する。